

療養病床の実態調査について

地域医療構想に係る調査分析等事業 (療養病床実態調査委託料 予算額1,804千円)

【現状と課題】

本県の療養病床入院受療率は全国一高く(グラフ1)、地域医療構想の必要病床数推計の参考値でも大幅に現状を下回る数字(表1)となる。また、介護保険3施設(介護老人福祉施設・老人保健施設・療養病床)のベッド数の75歳以上人口に対する割合は全国8位となっている(グラフ2)。

本県における地域医療構想の策定にあたっては、特に多い療養病床に入院している方々の実態を把握しながら、医療と介護の適切な役割分担によりQOLを高めていけるような療養環境の確保と併せて検討していく必要があるため、多くの関係者と現状をしっかりと共有し、理解を得ながら進めていくことが肝要。

【目的】

関係者の理解の下、**医療と介護の適切な役割分担により県民個々人のQOLに適した療養環境を確保していくために**、体の状態や医療の内容、療養にふさわしい施設・サービス等についての調査を行い、現在療養病床に入院している方々の実態を把握する。

【内容】

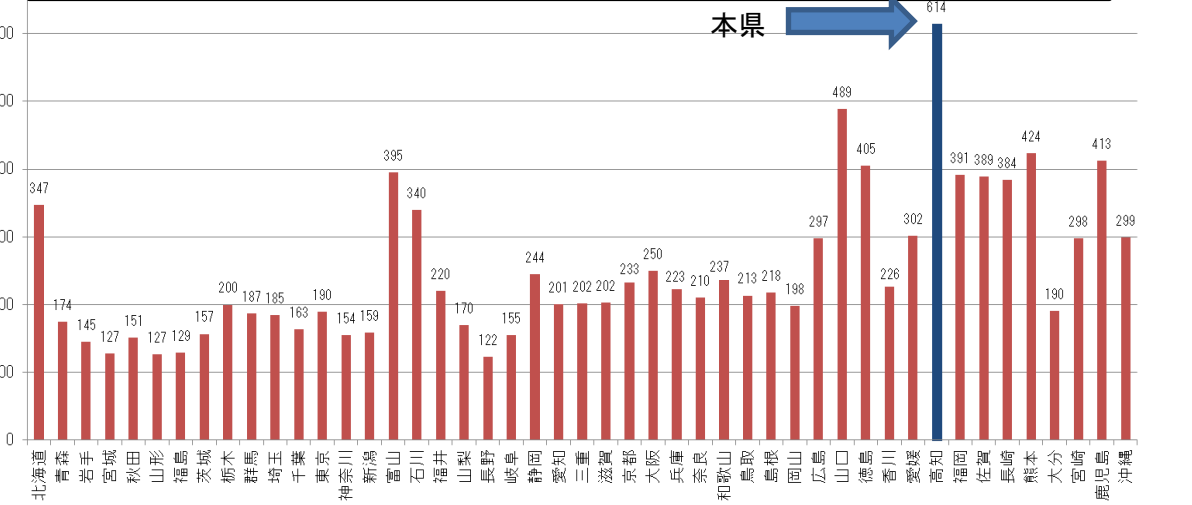
概要は以下の通りだが、詳細については、今後関係者へのヒアリング等を行いながら決定する。

＜調査内容概要＞

- ・本人や家族の希望する療養環境
- ・要介護状態等区分
- ・世帯の状況
- ・住居の状況
- ・家族介護力の状況
- ・年金の状況
- ・所得の状況

- ・担当者(保健師・ケアマネ)の状況
- ・認知症含む精神障害の状況
- ・身体障害の状況
- ・生活動作(IADL)の状況
- ・提供されている医療内容
- ・提供されている看護介護内容
- ・提供されているリハビリ内容
- 等

【グラフ1】都道府県別にみた療養病床の年齢調整入院受療率(間接法で年齢調整)



【表1】 2025年の医療機能別必要病床数の推計と病床機能報告制度 (医療機関所在地ベース、内閣官房専門調査会資料)

①2025年の医療機能別必要病床数の推計(医療機関所在地ベース)

【H27.6.15医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会】 (単位:床)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
				パターンC	パターンD
全国	130,300	400,600	375,200	285,100	1,191,200
高知県	800	2,800	3,300	4,300	11,200

②病床機能報告制度における報告結果(2014.7.1時点)

(単位:床)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
				パターンC	パターンD
全国	191,180	581,179	109,617	351,953	1,233,929
高知県	1,531	4,938	1,571	6,892	14,932

③増減数(①-②)

(単位:床)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
				パターンC	パターンD
全国	▲ 60,880	▲ 180,579	265,583	▲ 66,853	▲ 42,729
高知県	▲ 731	▲ 2,138	1,729	▲ 2,592	▲ 3,732

④増減率(③/②)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
				パターンC	パターンD
全国	▲ 31.8%	▲ 31.1%	242.3%	▲ 19.0%	▲ 3.5%
高知県	▲ 47.7%	▲ 43.3%	110.1%	▲ 37.6%	▲ 25.0%

【グラフ2】75歳以上人口千人あたりの介護保険3施設定員数(括弧内は全国順位、出典: H25.9月末介護保険事業報告、H25.10.1介護サービス施設・事業所調査)

